

歯内療法学

責任者・コーディネーター		(主) 歯科保存学講座（う蝕治療学分野） 野田 守 教授 歯科保存学講座（う蝕治療学分野） 浅野 明子 准教授		
担当講座（分野）		歯科保存学講座（う蝕治療学分野）		
対象学年	3	区分・時間数 (1コマ2時間換算)	講義/演習	実習
期間	後期		前期 —	—
			後期 56.0時間	42.0時間

学修方針（講義概要等）

歯内治療学(endodontics)では、口腔治療の対象となる歯内疾患の各疾患の科学と病態、診査・診断・治療方法を講義・実習で段階的に把握する。

教育成果（アウトカム）

歯内疾患の科学、病態（診査・診断）治療の講義・実習で修復領域を修得する。初診から高頻度歯科臨床の流れとして臨床で求められる口腔治療学の、知識、態度、技能を学修することができる。履修内容に関するフィードバックは掲示・ウェブクラス等で周知する。

（関連するディプロマポリシー：1～6）

到達目標（SB0s）

1. 歯内治療学の意義と目的について説明できる。
2. 歯内治療の治療の特徴について説明できる。
3. 歯内治療の基本的手技を実施できる。

事前事後学修の具体的内容及び時間

【事前学修】
シラバスに記載されている次の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は平均30分を要する。

【事後学修】
講義、実習で理解が不十分であった箇所については、講義資料や教科書等を用いて事後学修を行うこと。各授業に対する事後学修の時間は平均45分を要する。

（事前学修：平均30分を要する 事後学修：平均45分を要する）

講義/演習日程表

区分	月日 (曜)	時 限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
講義	9/10 (水)	1	野田 守教授 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	歯内総論 歯内療法の定義、意義、目的について説明できるようになる。	1. 歯内療法学の目的を説明できる。 2. 硬組織を介した感染経路を説明できる。 3. 歯と歯根周囲の組織学を説明できる。 [A-2-4-8、A-5-5-1、A-5-5-1、D-3-1-3-1、D-3-1-3-2、D-3-2-2、D-5-2-2-1] 事前学習：歯内治療学第1章、第2章を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	9/10 (水)	2	野田 守教授 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	歯と歯周組織の機能・構造 歯・歯周組織の機能と構造、象牙質・歯髄複合体および歯と歯髄腔の形態異常について説明できるようになる。	1. 歯髄腔の組織・解剖学を説明できる。 2. 象牙質・歯髄複合体の生理学的機能、硬組織形態を説明できる。 3. 象牙質・歯髄複合体の感覚神経分布、歯髄の痛みに伴随する頭頸部疼痛を説明できる。 4. 歯と歯髄腔の形態異常について説明できる。 [A-2-4-8、D-3-2-2、D-3-2-5] 事前学習：歯内治療学第2、3章を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

講義	9/10 (水)	3	西谷佳浩先生 非常勤講師 歯髓の保存療法、待機的診断 歯髓疾患の治療方針および歯髓保存療法について説明できるようになる。	1. 各種歯髓疾患の治療方針について説明できる。 2. 待機的診断法について説明できる。 3. 歯髓鎮痛消炎療法について説明できる。 4. 間接覆髄法について説明できる。 5. 直接覆髄法について説明できる。 6. 暫間的間接覆髄法について説明できる。 7. 生活断髄法について説明できる。 [D-5-2-1-5、D-5-2-2-1] 事前学習：歯内治療学5章Ⅶを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	9/17 (水)	1 2	浅野明子准教授 大塚泰寛助教 (歯科保存学講座 う蝕治療学分野) 歯内治療の検査 歯内治療に必要な検査法について説明できるようになる。	1. 診断に必要な検査の目的を説明できる。 2. 歯内治療に必要なレントゲン検査法を説明できる。 3. 検査機器の使用方を説明できる。 4. 歯髓疾患、根尖性歯周炎に特有な検査について説明できる。 5. 無菌的処置法、麻酔法について説明できる。 [D-2-1-1全般、D-2-2-1、D-3-1-3-3、D-3-2-2、D-5-2-2-1] 事前学習：歯内治療学4章を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

講義	9/24 (水)	1 2	北條友宣助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	歯髄疾患の分類と病態 各種歯髄疾患の分類と病態について説明できるようになる。	1. 炎症の病態を説明できる 2. 歯髄における炎症性変化の特徴を説明できる。 3. 歯髄疾患の原因について説明できる。 4. 歯髄疾患の分類と臨床症状について説明できるようになる。 5. 歯髄疾患の特徴と経過について説明できるようになる。 6. 病名・病態の用語を理解し英語で表記できる。 [A-5-5-1、A-5-5-2、D-3-1-3-1、D-3-1-3-2、D-3-1-3-3、D-3-2-2、D-5-2-2-1] 事前学習：歯内治療学第5章Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	10/1 (水)	1	東 兼司助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	歯髄疾患の診断、治療方針 歯髄疾患の診断と治療方針、治療法について説明できる。	1. 歯髄疾患の診断について説明できるようになる。 2. 歯髄疾患の治療方針について説明できるようになる。 3. 歯髄疾患の治療法について説明できるようになる。 4. 急性歯髄炎の緊急処置について説明できるようになる。 [D-5-2-2-1] 事前学習：歯内治療学5章Ⅴ、Ⅵ、Ⅶを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

講義	10/1 (水)	2 3	東 兼司助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	根尖性歯周炎の分類と病態 各種根尖性歯周炎の分類と病態について説明できるようになる。	1. 根尖周囲の免疫機構について説明できる。 2. 根尖性歯周疾患の原因について説明できるようになる。 3. 各種根尖性歯周組織疾患の分類と病態を説明できる。 4. 根尖性歯周疾患の特徴と経過について説明できるようになる。 5. 病名・病態の用語を理解して英語で表記できる。 [A-5-5-1、A-5-5-2、D-3-1-3-1、D-3-1-3-2、D-3-1-3-3、D-3-2-2、D-5-2-2-1] 事前学習：歯内治療学第6章Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	10/1 (水)	4	東 兼司助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	根尖性歯周炎の診査、治療方針 根尖性歯周炎の診断と治療方針、治療法について説明できる。	1. 根尖性歯周疾患の鑑別に用いられる検査を説明できる。 2. 根尖性歯周疾患の診断について説明できるようになる。 3. 根尖性歯周疾患の治療方針について説明できるようになる。 4. 根尖性歯周疾患の治療法について説明できるようになる。 5. 急性根尖性歯周炎の緊急処置について説明できるようになる。 [D-5-2-2-1] 事前学習：歯内治療学第6章Ⅴ、Ⅵを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
演習	10/8 (水)	2	野田 守教授 浅野明子准教授 千田弥栄子助教 北條友宣助教 東 兼司助教 大塚泰寛助教 相上雄亮助教 清水彩恵子助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	中間試験	1. これまでに学んだことを規定時間内に説明できる。

講義	10/15 (水)	1	北條友宣助教 相上雄亮助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	根管処置1 髓腔開拡、根管長測定 抜髄・感染根管治療の 基本術式（除痛法、髓 腔開拡）について説明 できるようになる。	1. 除痛法について説明できる。 2. 髓腔開拡の要件について説明で きる。 3. 歯種ごとの髓腔開拡の外形につ いて説明できる。 4. 麻酔抜髄、感染根管治療に使用 する器具を列挙できる。 5. 髓腔開拡の術式について説明で きる。 6. 根管上部の形成について説明で きる。 7. 根管長測定法と作業長の決定方 法が説明できる。 [D-5-2-2-1] 事前学習：歯内治療学第7章Ⅰ、Ⅱ を読み、疑問点を抽出しておく。ま た事前に提示されたキーワードにつ いて教科書とその他の参考書を含め て調べ、予習しておく。所要時間30 分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇 所について、講義資料や教科書を用 いて知識を整理しておくこと。所要 時間45分程度。
講義	10/15 (水)	2	北條友宣助教 相上雄亮助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	根管処置2 根管形成、化学的清掃 種々の根管拡大法、拡 大補助法について説明 できるようになる。	1. 根管形成の意義を説明できる。 2. 手用根管切削器具を用いた根管 形成について説明できる。 3. Ni-Ti製ロータリーファイルを用 いた根管形成について説明でき る。 4. 根管の化学的清掃の意義と術式 について説明できる。 [D-5-2-2-1] 事前学習：歯内治療学第7章Ⅲ、Ⅳ を読み、疑問点を抽出しておく。ま た事前に提示されたキーワードにつ いて教科書とその他の参考書を含め て調べ、予習しておく。所要時間30 分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇 所について、講義資料や教科書を用 いて知識を整理しておくこと。所要 時間45分程度。

講義	10/15 (水)	3	北條友宣助教 相上雄亮助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	根管処置3 消毒、補助的療法、再 根管治療 根管貼薬、再根管治療 について説明できる。	1. 根管貼薬剤の種類とその所要性質について説明できる。 2. 根管貼薬について説明できる。 3. 根管内容物の検査法について説明できる。 4. 根管治療の補助療法について説明できる。 5. 再根管治療について説明できる。 [D-5-2-2-1] 事前学習：歯内治療学第7章Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。 所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	11/5 (水)	1	東 兼司助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	根管充填1 根管充填の基本術式 (側方加圧根管充填) について説明できるようになる。	1. 根管充填の目的を説明できる。 2. 根管充填が可能な条件を説明できる。 3. 根管充填に使用する器具・薬剤を説明できる。 4. 種々の根管充填の術式について説明できる。 5. 即時根管充填法について説明できる。 [D-5-2-2-2] 事前学習：歯内治療学第8章Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

講義	11/5 (水)	2	東 兼司助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野) 根管充填2 再根管治療の基本術式、根管治療の補助療法、根管充填の予後について説明できるようになる。	1. 根管治療経過不良の原因を説明できる 2. 再根管治療の選択基準を説明できる 3. 治療方針の選択と治療術式を説明できる 4. 再根管治療時の注意点を説明できる 5. 根管治療の補助療法を説明できる 6. 根管充填後の治癒経過について説明できる 7. 根管充填後の予後の判定基準と時期について説明できる [D-5-2-2-2、D-5-2-2-4] 事前学習：歯内治療学 7 章VIを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	11/5 (水)	3	浅野明子准教授 大塚泰寛助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野) 緊急処置 未完成歯の治療 疼痛に対する緊急処置方法と根未完成歯の治療法について説明できる。	1. 疼痛に対する緊急処置法を説明できる。 2. 急性歯髄炎に対する緊急処置法を説明できる。 3. 根尖性歯周炎に対する緊急処置法を説明できる。 4. 根未完成歯の歯内療法目的を説明できる。 5. アペキシゲネーシスについて説明できる。 6. アペキシフィケーションについて説明できる。 [D-5-2-2-1、D-5-2-2-3] 事前学習：歯内治療学第9章、第10章を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

講義	11/5 (水)	4	浅野明子准教授 大塚泰寛助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	歯根の病的吸収 歯根の病的吸収の病態について説明できる。	1. 内部吸収の原因、症状、対処法について説明できる。 2. 外部吸収の原因、症状、対処法について説明できる。 [D-5-2-2-7] 事前学習：歯内治療学第11章を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	11/19 (水)	1	前田英史先生 非常勤講師	実体顕微鏡を応用した歯内治療 実体顕微鏡を用いた根管治療について説明できるようになる。	1. 根管治療の注意点を説明できる。 2. 実体顕微鏡の使用方法を説明できる。 [D-5-2-2-1、D-5-2-2-5] 事前学習：歯内治療学第7、14章を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	11/19 (水)	2	野田 守教授 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	外科的歯内療法 外科的歯内療法の術式・適応症、実体顕微鏡について説明できるようになる。	1. 外科的歯内療法の術式・適応症を説明できる。 2. 外科的歯内療法に用いる器具を用意できる。 3. 実体顕微鏡の構造、機能を説明できる。 4. 実体顕微鏡による検査、適応症を説明できる。 [D-5-2-2-5] 事前学習：歯内治療学第13、14章を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

講義	11/19 (水)	3	野田 守教授 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	外傷歯の診断と処置 外傷歯の歯内療法の基本術式について説明できるようになる。	1. 外傷歯の分類が説明できる。 2. 外傷歯も診査・検査について説明できる。 3. 外傷歯の治療について説明できる。 [D-3-1-2-3、D-5-2-2-8] 事前学習：歯内治療学第12章を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	12/10 (水)	1 2	浅野明子准教授 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	歯内治療における安全対策 歯内治療における偶発症について説明できる。	1. 歯内療法における偶発症を説明できる。 2. 偶発症への対処法を説明できる。 3. 有病者における歯内処置で配慮すべき点を説明できる。 [D-5-2-2-3] 事前学習：歯内治療学第19章を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	12/10 (水)	3	浅野明子准教授 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	歯内－歯周病変 根管処置後の歯冠修復 歯内－歯周病変のの病態、治療法について説明できる。支台築造法について説明できる。	1. 歯内－歯周病変の分類と臨床症状について説明できる。 2. 歯内－歯周病変の診断と治療について説明できる。 3. コロナルリーケージについて説明できる。 4. 支台築造法について説明できる。 [E-3-3)-(2)-(2)、E-3-4)-(1)-(3)] 事前学習：第16章、第18章を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

講義	12/17 (水)	2	野田 守教授 浅野明子准教授 千田弥栄子助教 北條友宣助教 東 兼司助教 大塚泰寛助教 相上雄亮助教 清水彩恵子助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	歯内臨床ケースから学ぶ PBL形式 提示された歯内症例に 対して的確な診断、治 療法の選択、治療に用 いる器具を容易できる ようになる。	1. 提示された症例に対して、的確な診査ができる。 2. 提示された症例に対して、的確な診断ができる。 3. 患者背景を考慮した治療法を選択できる。 4. 治療に用いる器具を用意できる。 与えられたテーマおよび問題に対してインターネットなどを利用して、情報収集を行い、発表出来るように纏めておく。 [D-5-2-2全般] 事前学習：有病者の歯科治療との関連についてインターネットなどで調べておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	12/24 (水)	1	志賀華絵先生 非常勤講師	変色歯の漂白 変色歯の漂白法について説明できる。	1. 変色歯の分類を説明できる。 2. 変色歯の漂白方法を説明できる。 3. 漂白の適応症と禁忌症を説明できる。 4. 偶発症について説明できる。 [D-5-2-2-3、D-5-2-2-6] 事前学習：歯内治療学第15章を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	12/24 (水)	2	志賀華絵先生 非常勤講師	高齢者有病者の歯内治療 高齢者・有病者の歯内治療の留意点について説明できるようになる。	1. 高齢者の心身における特徴を説明できる。 2. 全身疾患と歯内治療について説明できる。 3. 高齢者・有病者と健常者の歯内療法の違いを説明できる。 4. 高齢者の歯内療法について説明できる。 [D-3-2-2、D-5-2-2-1] 事前学習：第17章を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

実習日程表

実習	9/17 (水)	3 4	野田 守教授 浅野明子准教授 千田弥栄子助教 北條友宣助教 東 兼司助教 大塚泰寛助教 相上雄亮助教 清水彩恵子助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	材料と模型製作 歯内療法に用いる各種材料を把握し、今後の実習の理解を深めるとともに、実習に使用する模型の作成を行うことができる。	1. ブローチで綿栓を巻くことができる。 2. 根管模型で根管拡大を行うことができる。 3. 根管治療で使用する器具を適切に扱うことができる。 4. 根管拡大の基準を説明できる。 5. 適切な紛液比で石膏を練和し、石膏模型を製作することができる。 [E-1-1-1、E-1-1-2、E-1-1-3、E-5-1] 事前学習：歯内療法学, 実習書を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
実習	9/24 (水)	3 4	野田 守教授 浅野明子准教授 千田弥栄子助教 北條友宣助教 東 兼司助教 大塚泰寛助教 相上雄亮助教 清水彩恵子助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	上顎前歯の根管治療① 髓腔開拡から根管口の明示、仮封までをシュミレーター実習で根管拡大を治療手技に沿ってできるようになる。	1. 根管治療の術式を説明できる。 2. 上顎前歯の髓腔開拡を行うことができる。 3. 根管口の漏斗状拡大を行うことができる。 4. 作業長を決定することができる。 5. 作業長で根管拡大を行うことができる。 6. 根管洗浄、乾燥、貼薬仮封を行うことができる。 [E-1-1-1、E-1-1-2、E-1-1-3、E-5-1、E-5-3-2-6] 事前学習：歯内療法学, 実習書を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

実習	10/8 (水)	3 4	野田 守教授 浅野明子准教授 千田弥栄子助教 北條友宣助教 東 兼司助教 大塚泰寛助教 相上雄亮助教 清水彩恵子助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	臼歯の根管治療① 上顎小臼歯 髓腔開拡 根管口明示 根管拡大 シミュレーターで上顎 小臼歯の根管治療がで きるようになる。	1. 上顎小臼歯の髓腔開拡を行うことができる。 2. 根管口の漏斗状拡大を行うことができる。 3. 根管洗浄、乾燥、貼薬仮封を行うことができる。 [E-1-1-1、E-1-1-2、E-1-1-3、E-5-1、E-5-3-2-2] 事前学習：歯内療法学, 実習書を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
実習	10/22 (水)	1 2 3	野田 守教授 浅野明子准教授 千田弥栄子助教 北條友宣助教 東 兼司助教 大塚泰寛助教 相上雄亮助教 清水彩恵子助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	臼歯の根管治療② 根管充填① 下顎大臼歯の髓腔開 拡、根管口の明示、根 管拡大をシュミレー ター実習で大臼歯の根 管治療ができるよう になる。 アクリル模型で基本 的な根管充填の基本 的手技を行うことが できるようになる。	1. 下顎大臼歯のアクセスキャビ ティを理解できる。 2. 下顎大臼歯の根管拡大を行う ことができる。 3. 根管治療の術式を説明できる。 [E-1-1-1、E-1-1-2、E-1-1-3、E-5-1、E-5-3-2-6] 事前学習: WebClassで実習書を予 習したうえで、実習に望むこと。
実習	11/12 (水)	1 2	野田 守教授 浅野明子准教授 千田弥栄子助教 北條友宣助教 東 兼司助教 大塚泰寛助教 相上雄亮助教 清水彩恵子助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	上顎前歯の根管治療② 上顎前歯部の根管充 填をシュミレーター で行うことができる ようになる。	1. 根管充填を行うことができる 条件を説明できる。 2. マスターポイントの試適を行う ことができる。 3. シーラーを練和できる。 4. 根管充填を行うことができる。 [E-1-1-1、E-1-1-2、E-1-1-3、E-5-1、E-5-3-2-6] 事前学習：歯内療法学, 実習書を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

実習	11/12 (水)	3 4	野田 守教授 浅野明子准教授 千田弥栄子助教 北條友宣助教 東 兼司助教 大塚泰寛助教 相上雄亮助教 清水彩恵子助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	臼歯の根管治療③ 下顎大臼歯の根管充填 をシュミレーター実習 で行うことができる。	1. 根管充填を行うことができる条件を説明できる。 2. マスターポイントの試適を行うことができる。 3. シーラーを練和できる。 4. 根管充填を行うことができる。 [E-1-1-1、E-1-1-2、E-1-1-3、E-5-1、E-5-3-2-7] 事前学習：歯内療法学, 実習書を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
実習	11/26 (水)	1 2	野田 守教授 浅野明子准教授 千田弥栄子助教 北條友宣助教 東 兼司助教 大塚泰寛助教 相上雄亮助教 清水彩恵子助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	上顎前歯の根管治療③ 再根管治療をシュミ レーター実習で行うこ とができる。	1. 根管内の根管充填材を除去することができる。 2. 再根管治療が必要な病態を説明できる。 [E-1-1-1、E-1-1-2、E-1-1-3、E-5-1、E-5-3-2-1] 事前学習：歯内療法学, 実習書を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
実習	11/26 (水)	3 4	野田 守教授 浅野明子准教授 千田弥栄子助教 北條友宣助教 東 兼司助教 大塚泰寛助教 相上雄亮助教 清水彩恵子助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	臼歯の根管治療④ 上顎大臼歯の根管拡大 をシュミレーター実習 で行うことができる。	1. 上顎大臼歯の髓腔開拓を行うことができる。 2. シュミレーター実習で診療解除を実施することができる。 [E-1-1-1、E-1-1-2、E-1-1-3、E-5-1、E-5-3-2-2] 事前学習：歯内療法学, 実習書を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

実習	12/17 (水)	3 4	野田 守教授 浅野明子准教授 千田弥栄子助教 北條友宣助教 東 兼司助教 大塚泰寛助教 相上雄亮助教 清水彩恵子助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	ニッケルチタンロータリーファイルを使用した根管治療 シュミレーターでニッケルチタンロータリーファイルでの根管拡大を実施できるようになる。	1. ニッケルチタンロータリーファイルの特徴を説明できる。 2. ニッケルチタンロータリーファイルで根管拡大を実施できる。 [E-1-1-1、E-1-1-2、E-1-1-3、E-5-1、E-5-3-2-2] 事前学習：歯内療法学, 実習書を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
実習	12/24 (水)	3 4	野田 守教授 浅野明子准教授 千田弥栄子助教 北條友宣助教 東 兼司助教 大塚泰寛助教 相上雄亮助教 清水彩恵子助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	実習試験 与えられた臨床課題をシュミレーターで実施できるようになる。	1. 与えられた課題を時間内に達成できる。 [E-1-1-1、E-1-1-2、E-1-1-3、E-5-1、E-5-3-1-1] 事前学習：歯内療法学, 実習書を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

教科書・参考書・推薦図書

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	歯内治療学 第6版	興地隆史ほか編	医歯薬出版	2025年
教	エンドドンティクス 第6版	興地隆史ほか編	永末書店	2022年

成績評価方法・基準・配点割合等

講義（65点以上で合格）：中間筆記試験、最終筆記試験の総合評価

実習（65点以上で合格）：実習（態度、知識、技能）の総合評価

講義と実習が両者とも合格した場合のみ、合格とする。

備考

実習：すべての実習に態度良好で出席すること、すべての提出物を提出すること、すべての検印を受けることを必須とし、それらを全て守れない場合は、原則として実習評価不可とする。

本実習では、実習に関する知識（実習内容を理解することができる）、技術（実習内容に則した手技ができる）、積極性（実習意欲があり積極的に行動することができる）、礼節（礼儀正しい話し方ができ責任ある行動ができる）を評価する。

講義・実習：講義、実習ともに欠席、遅刻に応じて減点する。

再試は原則として各領域65点以上を合格とする。

特記事項・その他（試験・レポート等へのフィードバック方法・アクティブラーニングの実施、ICTの活用 等）

アクティブ・ラーニングを実施するために、TxADの各講義・実習ではグループワークを取り入れ、伝える力の強化を図るとともに、各講義・実習時間内に扱う各内容に関して担当教員とのディスカッションの機会を設ける。学生の理解度を必要に応じて講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して逐次確認する。講義資料は必要に応じてWebClassにアップロードする。

学生参加型講義を実施するために、各担当者は過去の国試問題をインターネット上の事前学習教材（DESSお試し演習）として演習前日までに設定する。各学生は事前学修教材を事前に予習した上で、各講義・演習および解説講義に臨むこと。各実施予定日には講義室でインターネットに接続できるよう予め接続可能なPC、タブレット等を準備しておくこと。講義終了後は、事前学修済み教材を活用し事後学修を必ず行なうこと。

小テストや中間試験を分析してさらなる学修が必要な項目について、講義時間内あるいは掲示にてフィードバックを行う。

当該科目に関連する実務教員の有無 … 有（大学病院等における医師や歯科医師の実務経験を有する教員が専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う）

授業に使用する機械・器具と使用目的…特記すべき機械・器具等はありません。

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的